

スリーパーラウンジ・チェアは安全性も確保され、感染症に対するアルコールや次亜塩素酸消毒にも対応する張り材が使われており、安心して清潔にお使いいただけます。

避難所

〈帰宅困難者・避難所生活〉



突然の災害で交通網が麻痺すれば帰宅困難者も増えます。一夜を過ごす際に横になれるベッドが公共の施設やホールにあつたら…。避難所では居住スペースを段ボールで囲み、狭いスペースの中で床や段ボールベッドで寝起きをし、気兼ねしながらの生活を強いられます。今までの生活を奪われ、せっかく助かった命もそんな苦しい生活から亡くなっていく方達も見受けられるようです。私達の普段使いのイスがしっかりしたベッドに変身し、少しでも前向きな生活を支えることができればと思います。スリーパーラウンジを使い、人とのコミュニケーションが始まれば、励まし、助け合うことも可能です。



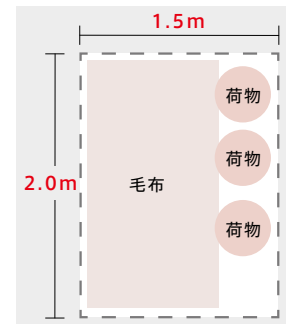
災害避難所の実情

体育館に避難者を収容する場合

●避難者の居住スペースは

1人あたり3㎡

一般的な体育館は600㎡なので
通路なしで200人程度を収容できます。



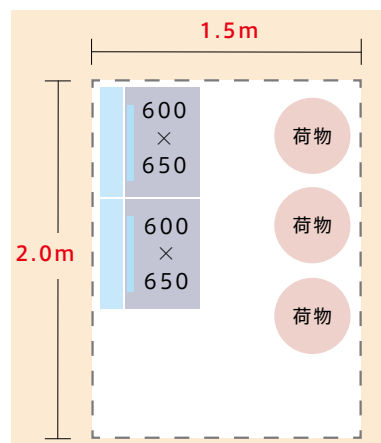
床に直に座ったり
薄い布団の上で寝るため
冷えをはじめ
足腰にも精神的にも
負担がかかります。

●スリーパーラウンジを使えば、1人3㎡スペースを有効的 & 快適に使えます！



スリーパーラウンジ2脚を使用した場合

起きている時間はチェアに。
ソファやベンチにも
形を変えられます。



スリーパーラウンジを
ベッドとして使用した場合

ベッドで眠れることで
ストレスを軽減できます。

